



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月25日

上場会社名 キヤノン電子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7739 URL <https://www.canon-elec.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役会長 (氏名)酒巻 久
 問合せ先責任者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)橋元 健 (TEL)03(6910)4111
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	71,376	3.1	4,613	34.9	5,927	17.0	4,687	17.8
2022年12月期第3四半期	69,207	15.1	3,420	△8.7	5,066	19.0	3,978	21.1

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 5,648 百万円 (9.4%) 2022年12月期第3四半期 5,163 百万円 (65.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	114.66	—
2022年12月期第3四半期	97.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	129,988	111,594	85.7
2022年12月期	137,493	111,296	78.3

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 111,444 百万円 2022年12月期 107,634 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2023年12月期	—	30.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 なお、2023年12月期の1株当たり期末配当金については未定です。

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	14.0	8,975	11.5	9,000	0.9	7,010	1.3	171.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 1社(社名)スペースワン株式会社

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年12月期3Q	42,206,540株	2022年12月期	42,206,540株
2023年12月期3Q	1,321,922株	2022年12月期	1,334,654株
2023年12月期3Q	40,879,578株	2022年12月期3Q	40,867,515株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来の見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

2023年12月期の1株当たり期末配当金につきましては、当社グループを取り巻く事業環境は引き続き不透明であり、今後の市場動向を見据えたうえで公表する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 事業の種類別セグメントの状況	2
(3) 財政状態に関する分析	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済・日本経済は、コロナ後の新しい社会への対応が進み、需要と供給の両面において堅調に回復しています。一方、地政学リスク、インフレ抑制のための金利の引上げ、そして中国経済の減速懸念など、経済の先行不透明感が残る中、電気料金の値上げや、国内での燃料価格や物価の上昇、およびこれらを背景にした給与の引き上げ実施などがコストアップ要因となりました。

このような状況の中、当社グループでは、プリンター用部品などの販売が好調に推移し、さらに、前年末よりグループ会社からの移管を進めているモータ製品の販売も堅調でした。また、デジタルトランスフォーメーション(DX)への取り組み強化・拡大に伴う金融機関向けのシステム開発などの需要が回復し、関連するサービスの拡販に努めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は713億76百万円(前年同期比3.1%増)、連結経常利益は59億27百万円(前年同期比17.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は46億87百万円(前年同期比17.8%増)となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間より四半期連結損益計算書には、スペースワン株式会社が連結子会社から持分法適用関連会社に移行した影響が含まれております。

宇宙関連分野におきましては、打上げから約6年経過した当社製の超小型人工衛星「CE-SAT-I(シーイー・サット・ワン)」と、同じく約3年経過した「CE-SAT-II B(ツービー)」の実証実験を継続しており、地上や天体などの画像を日々撮影しております。また、衛星本体や内製コンポーネント、撮影画像の販売促進も継続しております。そして、6月末に決定された国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)のH3ロケット2号機へ搭載する当社製超小型人工衛星「CE-SAT-IE(ワンイー)」の準備もJAXAおよび関係当局と連携し順調に進めています。

(2) 事業の種類別セグメントの状況

コンポーネントセグメントにおきましては、デジタルカメラ関係は、引き続きミラーレスカメラの販売が堅調に推移しましたが、一部のカメラ用部品の減産により、売上としては減少しました。レーザープリンター・複合機向けのレーザーユニットは、レーザープリンターの需要が減少し、前年同期比でわずかに減収となりました。一方、ベトナム子会社において生産を行っているプリンター部品は、本体新製品の立ち上げに伴う生産数の増加により、大幅な増収となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は416億33百万円(前年同期比5.0%増)、営業利益は52億98百万円(前年同期比38.7%増)となりました。

電子情報機器セグメントにおきましては、ドキュメントスキャナーは、韓国やインドで販売が好調でしたが、部品の納期遅延による生産調整や需要の減少により、欧米や中国、日本国内で販売が前年同期を下回り、減収となりました。ハンディターミナル関係では、モバイルプリンターの販売は堅調でしたが、ハンディターミナル本体や付属品の販売数が前年同期を下回りました。レーザープリンター関係では、当社が担当しているレーザープリンター本体の生産が前年のコロナ影響による減収から順調に回復したほか、新製品の生産も開始し、売上は増加しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は212億81百万円(前年同期比3.3%減)、営業利益は15億93百万円(前年同期比45.3%減)となりました。

なお、当セグメントにおいて、日本国内向けに6月発売を開始したドキュメントスキャナー「R30」の拡販を進めました。当該製品はソフトウェアのインストールが不要でPCと接続後すぐにスキャンできる製品です。また、昨年12月に発売した可動式のスポットライトを搭載した「albos Light & Speaker」は、アルミ削り出しボディのデザイン性など市場から評価されており、各種販促活動を展開し、販売も堅調に推移しています。

その他のセグメントにおきましては、情報関連事業は、各企業のシステムへの投資が回復してきており、情報セキュリティ対策ソフト「SML」においてテレワークや働き方の可視化に向けた分析パッケージの開発、提案を進めました。また、金融機関向けのシステム開発、顧客情報管理システム（CRM）などの受注活動を積極的に展開し、売上が増加しました。環境機器事業では、歯科用ミリングマシン「MD-500」「MD-500S」の販売が好調に推移し、前年同期と比べ売上は増加しました。医療関連機器では、血圧計は販売が減少しましたが、新製品の滅菌器の販売が伸び、前年同期と比べ売上は増加しました。

これらの結果、当セグメントの連結売上高は84億61百万円（前年同期比12.1%増）、8億11百万円の営業損失（前年同期は19億35百万円の営業損失）となりました。

(3) 財政状態に関する分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,299億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ75億5百万円減少しました。流動資産は868億65百万円となり、20億27百万円減少しました。固定資産は431億22百万円となり、54億77百万円減少しました。うち有形固定資産は331億31百万円となり、80億2百万円減少しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は183億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ78億2百万円減少しました。流動負債は166億35百万円となり、36億62百万円減少しました。固定負債は17億58百万円となり、41億40百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は1,115億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億97百万円増加しました。

なお、当第3四半期連結会計期間末より四半期連結貸借対照表には、スペースワン株式会社が連結子会社から持分法適用関連会社に移行した影響が含まれております。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績見通しにつきましては、2023年1月27日に公表いたしました連結業績予想に変更ありません。

実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,764	25,526
受取手形、売掛金及び契約資産	27,317	22,549
リース投資資産	161	121
商品及び製品	2,759	2,913
仕掛品	11,747	12,217
原材料及び貯蔵品	191	198
短期貸付金	20,000	22,000
その他	1,951	1,339
流動資産合計	88,893	86,865
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,897	11,943
機械装置及び運搬具(純額)	2,300	2,028
工具、器具及び備品(純額)	4,060	3,214
土地	18,600	15,313
リース資産(純額)	630	10
建設仮勘定	644	620
有形固定資産合計	41,134	33,131
無形固定資産		
投資その他の資産	1,634	1,481
投資その他の資産		
投資有価証券	2,091	2,333
関係会社株式	-	1,972
繰延税金資産	916	914
退職給付に係る資産	2,138	2,492
その他	684	796
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	5,830	8,509
固定資産合計	48,599	43,122
資産合計	137,493	129,988

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,013	11,231
電子記録債務	748	827
リース債務	148	60
未払費用	1,301	1,175
未払法人税等	2,036	228
賞与引当金	420	1,453
役員賞与引当金	84	40
受注損失引当金	472	18
その他	3,072	1,602
流動負債合計	20,298	16,635
固定負債		
社債	300	-
長期借入金	3,200	-
リース債務	684	66
繰延税金負債	37	55
役員退職慰労引当金	200	181
退職給付に係る負債	1,475	1,453
その他	0	0
固定負債合計	5,898	1,758
負債合計	26,196	18,394
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,969	4,969
資本剰余金	10,609	10,609
利益剰余金	93,167	95,405
自己株式	△2,482	△2,458
株主資本合計	106,263	108,524
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	356	539
為替換算調整勘定	1,938	3,260
退職給付に係る調整累計額	△924	△880
その他の包括利益累計額合計	1,370	2,919
非支配株主持分	3,662	150
純資産合計	111,296	111,594
負債純資産合計	137,493	129,988

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)
売上高	69,207	71,376
売上原価	56,341	58,189
売上総利益	12,866	13,186
販売費及び一般管理費	9,445	8,573
営業利益	3,420	4,613
営業外収益		
受取利息及び配当金	78	81
助成金収入	27	649
為替差益	1,542	892
その他	29	40
営業外収益合計	1,677	1,664
営業外費用		
支払利息	25	23
持分法による投資損失	-	323
株式交付費	1	-
その他	4	3
営業外費用合計	31	350
経常利益	5,066	5,927
特別利益		
固定資産売却益	0	77
ゴルフ会員権売却益	-	2
特別利益合計	0	79
特別損失		
固定資産除売却損	7	18
特別損失合計	7	18
税金等調整前四半期純利益	5,059	5,988
法人税、住民税及び事業税	1,994	1,973
法人税等調整額	81	△84
法人税等合計	2,076	1,889
四半期純利益	2,982	4,099
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△995	△588
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,978	4,687

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)
四半期純利益	2,982	4,099
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	182
為替換算調整勘定	2,035	1,322
退職給付に係る調整額	141	44
その他の包括利益合計	2,180	1,549
四半期包括利益	5,163	5,648
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,159	6,236
非支配株主に係る四半期包括利益	△995	△588

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

スペースワン株式会社の取締役会の役員構成変更により、支配力基準に基づく実質的な支配が認められなくなったため、当第3四半期連結会計期間より、スペースワン株式会社を連結の範囲から除外し、持分法適用関連会社としております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしています。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	コンポーネント	電子情報機器	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	39,659	22,002	61,662	7,544	69,207	—	69,207
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	507	455	962	242	1,205	△1,205	—
計	40,166	22,458	62,624	7,787	70,412	△1,205	69,207
セグメント利益 又は損失(△)	3,819	2,910	6,730	△1,935	4,795	△1,374	3,420

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にソフトウェアの開発・販売、ITソリューション等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	コンポーネント	電子情報機器	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	41,633	21,281	62,914	8,461	71,376	—	71,376
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	490	467	957	183	1,141	△1,141	—
計	42,123	21,749	63,872	8,645	72,517	△1,141	71,376
セグメント利益 又は損失(△)	5,298	1,593	6,891	△811	6,079	△1,466	4,613

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にソフトウェアの開発・販売、ITソリューション等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。